

好奇心がとまらない！

2024. 7. 19

早いもので1学期が終わりました。4月に入園した年少組は、先生や友達と一緒に過ごす楽しさを味わったり、自分のことは自分でやろうとしたりする姿が見られるようになりました。年長組は、いろいろな活動を通して、みんなと一緒にがんばろうとしたり、年少さんに優しく声を掛けたりと、八幡山幼稚園の年長としての成長が見られました。

今回は、1学期後半の子どもたちの様子をお伝えします。



ドッジボールや鬼ごっこなど、体を思い切り動かして遊ぶことも楽しみました。時には、年少組も仲間に入っていました

年長組：遊びに必要な場を友達と一緒に大型積み木を運んで作ったり、「どんなコースにしようかな」「ここをスタートにするのはどう？」など、自分の考えと伝えたりしながら遊んでいます。楽しい迷路ができて



年少組：のびのびと絵具で好きな絵を描きました。



年少組：先生と一緒にプリンやお寿司を作り、お店の人になることや、「いらっしやいませ」「おいしいですよ」など簡単なやり取りをすることを楽しんでいました。



年長組と年少組、一緒に電車ごっこをしています。駅に着くと、お客さんが乗り降りするのを待ってから、出発していました。



七夕飾り作り: 折り紙や画用紙、キラキラテープなど、いろいろな素材を使って、製作をしました。年少組は、親子で飾りつけをしました。



地域の方の畑でジャガイモ掘りをしました。そのジャガイモを使って年長児がカレーを作りました。年少児や地域の畑の方を招待して、みんなで会食をしました。年長児が作ったカレーはとてもおいしく、お代わりの行列ができました。年少児は、カレーをごちそうになったお礼に、お手紙を年長児に書いていました。年少児の喜んだ様子を見て、年長児はとても嬉しそうで満足感いっぱいの表情をしていました。



学級で飼っているカブトムシの幼虫が、成虫になっていることに気付き、そっと触ってみたり、アリの巣の中を興味深そうに覗いてみたり・・・など、子どもたちは、身近な自然や生き物に関心をもって関わっていました。時には初めて見る幼虫を捕まえて、園長先生と一緒に調べる姿も見られました。

7月には、年長児は松沢保育園の年長児と一緒に、八幡山小学校の1年生や5年生との交流活動がありました。小学生が、年長児のことを思い楽しい遊びを考えてくれたり、いろいろな場面で年長児に合わせてくれたりする姿が見られました。きっと“あんな小学生になりたいな”という気持ちを持ったことでしょう。